

Ⅱ 主な事業

【査定】欄の記載の意味

- ・経費の精査：事業費の積算根拠となる数量や単価等を精査したもの
- ・事業内容の精査：事業の必要性や実施手法等を精査したもの

備考欄の記載の意味

- ・充当率：市債が発行できる対象事業費に対する市債の割合
- ・措置率：市債の対象事業費に対する地方交付税措置の割合

※予算額は各事業の予算額から関連予算額を抜き出した金額のため、「Ⅰ 予算の概要」「Ⅲ 資料」に掲載している各事業の予算額とは一致しない場合があります。

Point!

- ① 約1,650人分の保育の受け皿の整備や、保育人材確保により待機児童ゼロを継続
- ② 子ども医療助成や第2子保育料無償化の対象拡大により、子育て世帯の負担を軽減

保育環境の充実

待機児童ゼロの継続や保育環境改善のため、質・量両面の施策の充実に取り組み、子どもたちが健やかに育つ環境を整備

● **公立保育所等整備費** 予算額：681,000千円（P.77）
仮称）ちあふる・ちゅうおう（基本・実施設計）、ちあふる・にし（改築）等の整備

● **私立保育所等整備補助関連** 予算額：4,830,000千円（P.32）
待機児童ゼロの継続のため、私立保育所等の整備費用を補助し、1,649人分の保育の受け皿を整備

● **保育人材確保緊急対策費** 予算額：473,000千円（P.31）
現役保育士の就労継続や保育人材の確保に向けた各種支援等の実施

○ **一時預かり事業費** 予算額：687,000千円（P.77）
保育所における非在園児の一時預かりや幼稚園における在園児・非在園児の一時預かりへの補助のほか、長時間及び一定規模の預かりを実施する幼稚園等に対する補助の拡充

子育て世帯の負担軽減

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、医療・療育・保育に関する助成制度の新規実施及び拡充

○ **子ども医療助成費** 予算額：3,864,123千円（P.26）
中学校修了前の子どもの医療費の一部を助成する医療助成制度において、通院・入院の自己負担が原則無料（初診時一部負担金を除く）となる対象を、小学校2年生までから小学校3年生までに拡大

● **赤ちゃんの耳のきこえ支援費** 予算額：39,000千円（P.76）
先天性難聴を早期発見し、適切な療育へとつなぐために出産医療機関等で行う新生児聴覚検査費用の一部助成

○ **第2子保育料無償化の拡大** 負担軽減額：304,446千円（P.33）
安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図るため、「保育料の3歳未満の第2子無償化」の対象者を拡大して子育て世帯の経済的負担軽減を拡充

子どもたちの学びの環境整備

子どもたちが健やかに学び、育つための学習環境や児童会館整備を推進

● **学校施設整備費** 予算額：5,448,000千円（P.36）
より良い学習環境整備のための老朽校の改築や学校統合に伴う新築、全面改修等

● **児童会館整備費** 予算額：310,000千円（P.77）
学校改築に合わせた児童会館の整備や老朽館の更新

※ ●～新規事業 ○～レベルアップ事業

子どもの見守り体制の強化

子どもたちが健やかに成長できる安全な環境を守るため、見守り体制を強化

●**仮称）第二児童相談所整備費** 予算額：32,000千円（P.29）
増加する虐待通告等に対応するため、2か所目の児童相談所の整備に向けた基本計画を策定するほか、仮称）第二児童相談所整備までの一時保護児童の増加に対応するため、仮設一時保護所の設置に着手

○**児童虐待防止関連** 予算額：116,000千円（P.28）
妊娠期から出産・育児まで各段階に応じた切れ目ない支援を提供するため母子保健相談員や、妊産婦支援相談のための心理相談員を配置することにより、相談体制を充実させるほか、児童虐待の防止や早期発見を図るための初期対応の体制を強化

●**子どもの居場所づくり支援費** 予算額：2,800千円（P.30）
食事の提供に加え、学習・交流・遊び体験等、子どもの居場所づくりを行う「子ども食堂」の活動支援のほか、事業立ち上げ時の講座等の開催

医療的ケアが必要な方への支援

医療的ケアを要する方への支援の充実と保護者の負担軽減を図るため、医療・障がい福祉・保育・教育など関係分野の連携体制の構築

○**医療的ケア児等支援関連** 予算額：66,203千円（P.25）
医療的ケアが必要な障がい児者への支援体制を整備するため、サポート医の配置や看護師派遣等を実施するとともに、民間施設への受入促進補助や関係機関を対象とした研修の実施

住み慣れた地域で健康に暮らすための支援

住み慣れた地域で健康に暮らし続けるため、日常生活を支える体制構築を支援

●**住宅確保要配慮者居住支援費** 予算額：13,000千円（P.35）
高齢者等のための民間賃貸住宅への円滑な入居に係る相談窓口運営等

○**在宅医療・介護連携推進事業※** 予算額：16,826千円（P.85）
医療と介護の両方が必要な高齢者を適切な関係機関へつなげられるよう、在宅医療と介護の連携に関する相談窓口機能を強化

※介護保険会計の事業（特別会計の概要は、P.63に掲載）

冬の暮らしを支える除排雪体制

限られた財源や体制のなか、市民や企業、関係機関等と連携し、市民満足度の高い雪対策と、持続可能な除雪体制を構築

○**除雪費** 予算額：22,034,987千円（P.34）
冬季の安心・安全な道路・交通を確保するため、凍結路面の対策強化やバス路線の排雪を強化するほか、除排雪の効率化のため大規模融雪槽の融雪能力の増強工事の実施

その他の主な事業

●**仮称）動物愛護センター整備費** 予算額：11,000千円（P.76）
○**受動喫煙対策推進費** 予算額：11,000千円（P.27）
●**犯罪被害者等支援費** 予算額：10,000千円（P.24）

アクションプラン 政策分野2 産業・活力

Point !

- ① 雇用確保のための誘致や奨学金返還支援等の人材確保・地元定着策を充実
- ② 東京2020オリパラの成功から、2030冬季オリパラ招致の機運醸成へ！

企業誘致・創業支援の強化

若者が起業に挑戦できるまちの実現を図るとともに、雇用創出や産業基盤の強化を図るため、企業誘致のための支援を強化

○スタートアップ創出支援費 予算額：40,000千円（P.43）

スタートアップ企業の創出・支援の取組を拡充

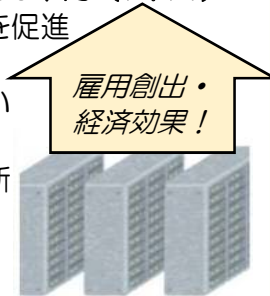
- ・スタートアップに特化した相談窓口の開設（月一回程度、弁護士等専門家4名対応）
- ・高校生、大学生向けの起業体験プログラム等
- ・海外を含む関連イベントへの出展進出
- ・連携中枢都市圏における行政課題について、スタートアップ企業との協業により課題解決を図る



○企業立地促進費 予算額：1,020,000千円（P.44）

本社機能の移転をはじめとする、企業の立地等を促進

- ・札幌圏に立地する企業の設備投資への補助において、新たに「データセンター」を対象に追加
- ・新たにオフィスビルの建設に対する補助制度を新設（建替の際は、オフィス床の一定程度増加を条件）



人材育成・地元定着の支援強化

地元就職する若者を増やすため、地元企業と、若者とのマッチング機会の充実や、定着率向上を支援

●さっぽろインターンシップ促進費 予算額：20,000千円（P.49）



学生の地元就職を促進するとともに、企業の採用力向上を目的に、連携中枢都市圏内の中小企業を対象としたインターンシップ開催

- ・夏休み、冬休みの2期に分けて実施
- ・学生100人程度、企業60社程度を想定

●奨学金返還支援費 予算額：1,000千円（P.50）

学生が就職した企業（市が認定）との共同による、地元定着を促すための奨学金返還支援を実施（支給開始はR4年度予定）

- ・年間100人、3年間で計300人を想定
- ・一人あたり入社後年間18万円を上限
- ・さっぽろ圏域に本社を置く中小企業等を想定



企業との共同支援による地元定着！



※ ●～新規事業 ○～レベルアップ事業

オリンピックの成功を次のステップに繋げる！

○東京2020オリンピック・パラリンピック関連

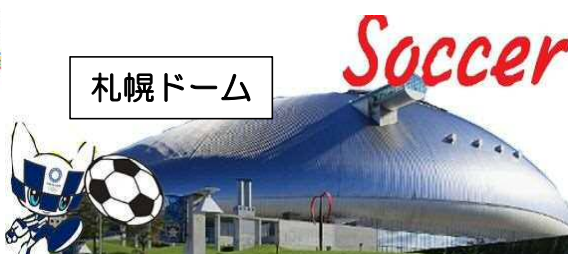
予算額：806,000千円（P.42）

- 東京2020大会のサッカー、マラソン等の開催
- 多様に参画できるオリ・パラ
沿道ボランティアなど市民によるおもてなしや、うちわによる沿道応援促進。SNSを活用した市民によるコースの魅力発信等
- 誰もが体感できるオリ・パラ
市内各地のパブリックビューイングでの感動の共有や、都市装飾による祝祭感の創出、関係団体と連携したイベントなどでの競技体験

大通公園



札幌ドーム



・冬季オリンピック・パラリンピック招致関連

予算額：317,000千円（P.41）

- 冬季大会招致に向けた機運醸成や、各検討等
- 招致機運の醸成や小学生向け教育推進
メディア・オリンピック等と連携したPRや、小学生のオリンピックミュージアム訪問機会を創出
- 開催概要計画の更新、施設配置、大会運営等の検討
ワークショップ、シンポジウム等
- 都心部クロスカントリースキー大会の実証実験



集客力アップの取組強化

○MICE施設関連

予算額：64,700千円（P.45）



新MICE施設に係る設計監修や施設運営事業者の公募等に向けた検討に関する業務に加え、中島公園駅の改修や公園北口部分の整備方針を検討

○定山溪地区魅力アップ費 予算額：200,000千円（P.48）

定山溪観光魅力アップ構想に基づき、周辺環境の修景支援補助拡充や老朽化施設の再整備、各種イベント支援等を実施



定山溪温泉PR
隊長かっぱん

○国際芸術祭事業費

予算額：401,000千円（P.40）

第3回国際芸術祭を冬季（12月19日～2月14日）開催し、札幌ならではの寒冷な気候や雪、北方圏の文化等を題材とした現代アート・メディアアートを展開



○アイヌ政策推進交付金関連 予算額：114,000千円（P.39）

アイヌ文化交流センターの展示物のリニューアルや改修、白老町に4月開設予定の「民族共生象徴空間（ウポポイ）」バスツアーなど、アイヌ文化の情報発信



その他の主な事業

- まちづくり戦略ビジョン策定費 予算額：27,000千円（P.70）
- 札幌駅交流拠点まちづくり推進費 予算額：333,000千円（P.38）
- 札幌ドーム周辺活用推進費 予算額：93,000千円（P.74）
- 都心における冬のアクティビティ創出費 予算額：30,000千円（P.46）
- アドベンチャーツーリズム推進費 予算額：20,000千円（P.47）

アクションプラン 政策分野3 低炭素社会・エネルギー転換 政策分野4 戦略を支える都市空間

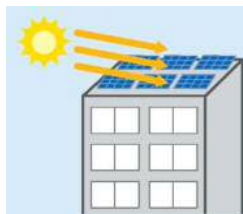
- Point!**
- ① エネルギー利用の効率化を推進し、低炭素で持続可能なまちへ!
 - ② 地域交流拠点の整備を推進し、まちの魅力を向上!

エネルギー利用の効率化

建築物のゼロ・エネルギー化への支援や熱導管幹線の整備等によりエネルギー効率の高い持続可能なまちづくりを推進

○自立分散型エネルギー普及推進費 予算額：136,000千円 (P.80)

新エネ・省エネ機器導入に対する補助等に加え、ZEB(注1)、ZEH-M(注2)の普及のため、設計費上乗せ分に対する補助を新設



注1 ZEB(ゼブ)：Net Zero Energy Buildingの略称。大幅な省エネルギー化を実現した上で、太陽光発電などでエネルギーを作ることにより年間のエネルギー消費量の収支をゼロとすることを旨とした建築物。

注2 ZEH-M(ゼッチ・マンション)：ZEH(Net Zero Energy House)の集合住宅版。ZEB同様、年間のエネルギー消費量の収支をゼロとすることを旨とした集合住宅。

○都心エネルギープラン推進費 予算額：46,000千円 (P.53)

都心の建物の低炭素化と強靱化を進めるため、札幌駅前通地下歩行空間に熱導管幹線(冷水・温水管)を整備するほか、省エネビルへの建替えの誘導等に関するプロジェクトを官民連携により実施

●水素エネルギー利活用事業費 予算額：10,000千円 (P.52)

水素エネルギーの将来の普及に向け、再生可能エネルギーを活用した水素サプライチェーンの構築について、実現可能性等を調査

地域交流拠点の魅力向上

魅力ある都市空間の形成や多様な都市機能の集積を促進し、にぎわいや交流を生むまちづくりを推進

<篠路>

土地区画整理や鉄道高架及び周辺道路整備による社会基盤整備や、地域主体のまちづくり活動を実現することで、にぎわい創出や活性化に資するまちづくりを推進

- ・篠路駅東口土地区画整理費※ 予算額：173,000千円 (P.85)
- ・街路改良費(鉄道高架、道路整備) 予算額：581,000千円 (P.81)
- ・篠路駅周辺地区まちづくり推進費 予算額：9,200千円 (P.71)
- ・篠路出張所機能強化費 予算額：11,000千円 (P.72)

※土地区画整理会計の事業(特別会計の概要は、P.63に掲載)

<新さっぽろ>

民間事業者による駅周辺の開発に合わせ、周辺道路の整備や歩行者ネットワークの充実を図るほか、市民活動の拠点である厚別中央市民交流広場の再整備を実施

- ・新さっぽろ駅周辺地区まちづくり推進費 予算額：418,000千円 (P.71)
- ・厚別中央市民交流広場再整備費 予算額：150,000千円 (P.72)

※ ●～新規事業 ○～レベルアップ事業

世界を惹きつける都心

民間投資を活用した再開発を積極的に展開

・再開発事業関連 予算額：3,824,000千円（P.54）

再開発事業に対する補助を行い、民間投資を最大限活用した都心周辺の再整備を推進

<対象>

南2西3南西地区、北8西1地区、北4東6周辺地区、北3東11周辺地区、苗穂駅北口西地区



自然との共生

「さっぽろヒグマ基本計画」に基づく施策を展開し、市民生活の安全確保を図りながらヒグマとの共生を目指す

○ヒグマ等の市街地侵入抑制費 予算額：13,000千円（P.59）



ヒグマの市街地侵入抑制に有効な電気柵の普及のため、購入費の補助を新設するほか、令和3年度の「さっぽろヒグマ基本計画」の見直しに向け、ヒグマの大規模生息状況調査を実施

高次機能交流拠点における取組

既存施設のさらなる活用を図り、拠点の魅力と活力を向上



●札幌ドーム活用促進費 予算額：16,000千円（P.57）

多様な規模のコンサート開催に対応し集客力の向上を図るため、空間の間仕切りや吊り天井システムの整備など、機能拡充に向けた改修工事の実施設計を実施

●硬式野球場整備費 予算額：34,000千円（P.56）

硬式野球場の供給不足に対応するため、既存のモエシ沼公園軟式野球場の硬式野球場化に向けた基本設計を実施

災害からの復旧、防災

北海道胆振東部地震により甚大な被害を受けた地区の復旧工事や再度災害防止工事等を実施

●道路等災害復旧費 予算額：2,684,000千円（P.62）

北海道胆振東部地震により甚大な被害を受けた清田区里塚地区、東15丁目・屯田通の復旧を完了させるとともに、美しが丘地区、月寒東地区、里塚霊園隣接地区において再度災害防止のための工事を実施

その他の主な事業

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ●放置自転車対策関連 | 予算額：2,308,000千円（P.61） |
| ●篠路清掃工場跡地活用関連 | 予算額：493,000千円（P.58） |
| ●公共交通次世代連携対策費 | 予算額：24,000千円（P.55） |
| ●文化芸術施設活用費 | 予算額：34,000千円（P.73） |
| ●類人猿館改築費 | 予算額：21,000千円（P.60） |

M E M O

